

写真家の父ちゃんが、2歳の息子にあてた
旅先からの手紙

父ちゃんから
の手紙 ③

Letter from
Dad



林太郎へ

今日は高知県からです。高知には昔、ばあちゃんのおうちがあつて、たくさんのおうちがいました。「いい子にしないと、えんこつが来るよ」。父ちゃんが小さいころ、ばあちゃんがよく言っていました。えんこつは川に住むよう怪で、悪い子を川に引き込みます。父ちゃんは怖くて、いつもばあちゃんの

言い付けを聞きました。

高知は今日、「えんこつ祭り」です。橋のそばにシヨウブの葉で小さな社を作り、えんこつ^{えんこつ}の好物、キュウリの塩もみをお供えます。子どもたちはみんな社の前で手を合わせ、夏の川遊びの安全をお願いします。

言うことを聞かない子には怖いことをするよう怪も、いい子にして仲良くなれば、いつもそばにいて見守っていてくれるんだね。

公文健太郎 (くもん けんたろう)

写真家。1981年生まれ。国内だけでなく、ネパールなど海外の被写体をテーマに作品を撮り続け、写真集やエッセイ、写真展などで発表している。2児の父。http://www.k-kumon.net/